



平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 10 日

上場会社名 **株式会社キッツ**

（コード番号：6498 東証第一部）

（URL <http://www.kitz.co.jp>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 小林 公雄
責任者役職・氏名 経理部長 木村 太郎

T E L (043)299 - 0114

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理方法における簡便な方法の採用の有無： 有

（内容）

1. 法人税等の会計処理については、簡便法により税金費用を計上している。
2. 引当金の計上基準に一部簡便的な方法を採用している。
3. 棚卸資産の棚卸高は、実地棚卸を行わず、当中間連結会計期間に係わる実地棚卸高を基礎として、帳簿棚卸によって算定している。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無： 有

（内容）

連結（新規）- 社（除外）1 社 持分法（新規）- 社（除外）1 社

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（単位：百万円未満切り捨て）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	77,814	8.2	7,583	2.4	7,227	8.8	6,411	46.1
17 年 3 月期第 3 四半期	71,897	34.1	7,407	153.6	6,643	235.0	4,389	276.1
(参考) 17 年 3 月期	95,705		9,627		8,513		5,804	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 3 月期第 3 四半期	56	17	55	85
17 年 3 月期第 3 四半期	38	54	36	84
(参考) 17 年 3 月期	50	15	47	90

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期における概況につきましては、国内市場で設備投資が堅調に推移しプラント向けが増加した他、アジア及び北米市場における売上の増加もあり、バルブ事業の売上が増加しました。また、伸銅品事業の売上高につきましても、製品市況の高騰により増収となったことに加え、当期より京都プラス(株)がグループに加わったことにより大幅に増加し、連結売上高の総額は前年同期比 8.2% 増の 77 億 14 百万円となりました。

損益面では、バルブ事業において、原材料相場の高騰などにより減益となりましたが、伸銅品事業において京都プラス(株)が加わったことにより大幅な増益となり、中間期では前年を下回っていた営業利益は前年同期比 2.4% 増の 75 億 83 百万円となり、経常利益も、同様に前年同期比 8.8% 増の 72 億 27 百万円となりました。一方、四半期純利益につきましては、前期において計上した減損会計の早期適用による損失や退職金制度の変更に伴う負担が無く、四半期純利益は 64 億 11 百万円と前年同期比 46.1% 増の大幅な増益となりました。

(事業の種類別セグメント)

バルブ事業

バルブ事業の外部売上高は、国内では民間設備投資が堅調に推移しプラント関連が増加した他、当四半期に実施した価格改定により一時的に需要が増加したことに加え、海外市場においても、プラント向けを中心に北米市場向けやアジア市場でも増加しましたが、半導体製造装置向けの売上には回復が見られず、バルブ事業全体の売上高は、前年同期比0.3%増の593億8百万円にとどまりました。

損益面では、材料市況の高騰による影響や情報関連投資や人件費の増加などはありませんでしたが、売上高の増加により四半期ベースの利益が増加し、バルブ事業の営業利益は前年同期比4.1%減の85億500万円まで回復しました。

伸銅品事業

伸銅品事業の外部売上高は、製品市況の上昇や売上数量の増加に加え、当期より京都プラス㈱の売上約50億円が加わったこともあり、前年同期比82.7%増の122億41百万円となりました。

損益面では、素材市況の高騰が続き厳しい状況で推移いたしました。京都プラス㈱の統合による収益増が大きく寄与し、営業利益は前年同期比356.0%増の7億3百万円と大幅な増益となりました。

サービスその他の事業

フィットネス事業、ホテル事業などサービスその他の事業の売上高は、個人消費に回復の兆しが見られ、さらに、フィットネス事業では昨年4月に開設した新店舗が順調に立ち上がり増収となったことなどにより、前年同期比3.5%増の62億64百万円となりました。

損益面でも、売上高の増加により、営業利益は前年同期比5.7%増の4億37百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(単位:百万円未満切り捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	101,957	39,302	38.5	344 40
17年3月期第3四半期	103,327	30,742	29.8	269 53
(参考) 17年3月期	95,125	32,270	33.9	282 10

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における総資産は、前連結会計年度末に比べ68億31百万円増加し、当第3四半期末には1,019億57百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億41百万円減少し、618億23百万円となり、有利子負債残高は2億47百万円増加して466億8百万円となりました。

これらは、主として昨年5月に旧京都プラス㈱の事業を譲り受けたことにより約22億円の資産が増加し、また、譲受資金として借入金の調達を行ったことにより有利子負債も増加したものであります。

資本の部は、四半期純利益が64億11百万円となったことに加え、株式市況の上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ70億31百万円増加し393億2百万円となりました。

【連結キャッシュ・フローの状況】

(単位：百万円未満切り捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	5,755	4,135	1,328	5,403
17年3月期第3四半期	1,947	1,480	941	7,143
(参考) 17年3月期	10,100	1,925	8,799	5,057

[キャッシュ・フローの状況]

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税金等調整前当期純利益が堅調に推移した一方、京都プラス㈱の買収や設備投資による支出などにより、前連結会計年度末に比べ3億45百万円増の54億3百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益が71億53百万円、減価償却費が22億20百万円となり、加えて売掛債権の売却を進めました。京都プラス㈱の買収などによる売掛債権や棚卸資産の増加により、営業活動による資金の増加は57億55百万円(前年同期は19億47百万円の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

京都プラス㈱の事業譲受に22億76百万円を支出したほか、バルブ事業の生産合理化投資及び中国におけるバルブ生産設備投資などに19億42百万円を支出し、投資活動による資金の減少は41億35百万円(前年同期は14億80百万円の減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

京都プラス㈱の事業譲受資金として取引銀行から長期及び短期の借入金22億円を調達した他、私募債10億円を発行しましたが、一方で、長期借入金44億81百万円を返済した他、配当金等の支出もあり、財務活動による資金の減少は13億28百万円(前年同期は9億41百万円の増加)となりました。

なお、当社では短期の運転資金需要の発生に備え、当社取引銀行によるシンジケート団との間で総額74億円のコミットメントライン契約を締結しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

連結の業績予想(平成17年11月10日公表)は、変更ありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て、%)

科目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 平成17年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	5,403	7,143	1,740	24.4	5,057
受取手形及び売掛金	24,265	27,299	3,034	11.1	21,880
たな卸資産	14,441	12,570	1,871	14.9	12,454
その他	2,577	2,751	174	6.3	2,564
流動資産合計	46,687	49,764	3,077	6.2	41,957
固定資産					
有形固定資産	40,335	40,109	226	0.6	39,883
無形固定資産	477	495	18	3.6	484
投資その他の資産	14,455	12,959	1,496	11.5	12,799
固定資産合計	55,269	53,563	1,706	3.2	53,167
資産合計	101,957	103,327	1,370	1.3	95,125
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	5,570	5,640	70	1.2	5,099
1年以内償還予定社債	7,230	-	7,230	-	4,230
1年以内償還予定転換社債	-	13,013	13,013	-	-
短期借入金	5,771	5,369	402	7.5	3,968
1年以内返済予定長期借入金	5,237	6,066	829	13.7	5,692
その他	5,022	5,472	450	8.2	5,919
流動負債合計	28,832	35,561	6,729	18.9	24,909
固定負債					
社債	10,455	14,500	4,045	27.9	12,570
長期借入金	17,914	17,057	857	5.0	19,900
その他	4,621	4,689	68	1.5	4,684
固定負債合計	32,990	36,247	3,257	9.0	37,154
負債合計	61,823	71,809	9,986	13.9	62,064
(少数株主持分)					
少数株主持分	831	775	56	7.2	790
(資本の部)					
資本合計	39,302	30,742	8,560	27.8	32,270
負債、少数株主持分 及び資本合計	101,957	103,327	1,370	1.3	95,125

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て、%)

科目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	増減		(参考) 平成17年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
売上高	77,814	71,897	5,917	8.2	95,705
売上原価	56,140	51,073	5,067	9.9	68,241
売上総利益	21,674	20,824	850	4.1	27,464
販売費及び一般管理費	14,090	13,416	674	5.0	17,836
営業利益	7,583	7,407	176	2.4	9,627
営業外収益					
受取利息及び配当金	89	68	21	30.9	80
その他	550	315	235	74.6	535
計	639	383	256	66.8	615
営業外費用					
支払利息	629	745	116	15.6	1,007
その他	365	402	37	9.2	722
計	995	1,147	152	13.3	1,730
経常利益	7,227	6,643	584	8.8	8,513
特別利益					
役員退職金引当金戻入	-	67	67	-	67
その他	57	142	85	59.9	145
計	57	210	153	72.9	213
特別損失					
固定資産減損損失	29	1,370	1,341	97.9	1,284
退職給付費用	-	626	626	-	678
その他	103	238	135	56.7	511
計	132	2,236	2,104	94.1	2,474
税金等調整前四半期 (当期)純利益	7,153	4,617	2,536	54.9	6,252
税金費用	694	185	509	275.1	397
少数株主利益	47	43	4	9.3	50
四半期(当期)純利益	6,411	4,389	2,022	46.1	5,804

3. 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円未満切り捨て、%)

科目	当四半期	前年同四半期	増減		(参考)
	(平成18年3月期 第3四半期末)	(平成17年3月期 第3四半期末)	金額	増減率	平成17年3月期 金額
(資本剰余金の部)					
資本剰余金期首残高	8,924	8,865	59	0.7	8,865
資本剰余金増加高					
自己株式処分差益	7	56	49	87.5	58
計	7	56	49	87.5	58
資本剰余金四半期末(期末)残高	8,931	8,921	10	0.1	8,924
(利益剰余金の部)					
利益剰余金期首残高	3,134	1,787	4,921	-	1,787
利益剰余金増加高					
四半期(当期)純利益	6,411	4,389	2,022	46.1	5,804
計	6,411	4,389	2,022	46.1	5,804
利益剰余金減少高					
配当金	1,483	738	745	100.9	738
役員賞与	91	25	66	264.0	25
持分法適用会社減少に伴う剰余金減少高	-	-	-	-	119
計	1,574	764	810	106.0	883
利益剰余金四半期末(期末)残高	7,970	1,837	6,133	333.9	3,134

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) 平成17年3月期
区分	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	7,153	4,617	6,252
減価償却費	2,220	2,248	3,048
受取利息及び配当金	89	68	80
支払利息	629	745	1,007
固定資産減損損失	29	1,370	1,284
売上債権の減少(増加)額	1,080	7,232	1,764
たな卸資産の減少(増加)額	1,187	1,409	1,291
仕入債務の増加(減少)額	293	1,459	942
その他	489	1,338	2,194
小計	7,479	3,069	11,592
利息及び配当金の受取額	89	68	80
利息の支払額	576	599	946
法人税等の支払額	1,236	590	626
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,755	1,947	10,100
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	1,942	1,471	2,000
有形固定資産の売却による収入	46	158	160
営業譲受に伴う支出	2,276	-	-
その他	35	167	85
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,135	1,480	1,925
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増(純減)額	1,747	1,711	3,152
長期借入による収入	2,040	6,560	10,360
長期借入金の返済による支出	4,481	3,310	4,658
社債の発行による収入	986	-	2,271
社債の償還による支出	115	-	-
転換社債の償還による支出	-	-	13,013
配当金の支払額	1,483	738	738
その他	22	142	131
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,328	941	8,799
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	27	25
現金及び現金同等物の増加(減少)額	345	1,435	650
現金及び現金同等物の期首残高	5,057	5,707	5,707
現金及び現金同等物の期末残高	5,403	7,143	5,057

5. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期

(単位：百万円未満切り捨て)

	バルブ事業	伸銅品事業	サービスその他の事業	計	消去 又は全社	連結
売上高	59,637	14,165	6,317	80,120	(2,306)	77,814
営業費用	51,087	13,462	5,879	70,429	(198)	70,230
営業利益	8,550	703	437	9,691	(2,107)	7,583

前年同四半期

(単位：百万円未満切り捨て)

	バルブ事業	伸銅品事業	サービスその他の事業	計	消去 又は全社	連結
売上高	59,331	8,132	6,078	73,542	(1,644)	71,897
営業費用	50,412	7,978	5,664	64,055	434	64,490
営業利益	8,918	154	414	9,487	(2,079)	7,407

[所在地別セグメント情報]

当四半期

(単位：百万円未満切り捨て)

	日本	北米	アジア	ヨーロッパ	計	消去 又は全社	連結
売上高	71,768	4,603	10,773	1,007	88,153	(10,338)	77,814
営業費用	63,378	4,394	9,678	1,079	78,529	(8,299)	70,230
営業利益(損失)	8,389	209	1,095	71	9,623	(2,039)	7,583

前年同四半期

(単位：百万円未満切り捨て)

	日本	北米	アジア	ヨーロッパ	計	消去 又は全社	連結
売上高	66,133	3,957	9,542	1,152	80,786	(8,888)	71,897
営業費用	57,884	3,929	8,172	1,231	71,218	(6,728)	64,490
営業利益(損失)	8,248	28	1,370	78	9,568	(2,160)	7,407